



公益社団法人 埼玉県看護協会

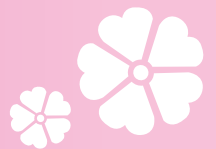
# さいたま

## Nursing



田島ヶ原のサクラソウ (C)さいたま観光国際協会 (提供: さいたま観光国際協会) Saitama Tourism and International Relations Bureau

No. **145** 2026.4.24



**特集** ともに、つくる、「看護」

### 地域包括ケアの推進に向けた 看護管理者の活動紹介

4~7

- 🌸 ごあいさつ ..... 2
- 🌸 令和8年度教育計画 / 第34回埼玉看護研究学会のご案内 ..... 3
- 🌸 令和8年度 埼玉県看護協会通常総会 / 認定看護師資格取得・特定行為研修補助 ..... 8

会員数 **23,420**名 (2026.2.28現在)

保健師

359名

助産師

925名

看護師

21,721名

准看護師

415名

埼玉県看護協会ホームページ  
<https://www.nurse-saitama.jp>



## ごあいさつ



公益社団法人埼玉県看護協会  
常務理事 文才理

日頃より会員のみなさまには、埼玉県看護協会の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

新年度となり、職場では新しい職員を迎えて慌ただしい日々をお過ごしのことと思います。また、新たな職場に踏み出した方の中には、さまざまな場面で立ち止まり、「もっとよい看護がしたい」と思い悩むこともあるのではないのでしょうか。看護の現場では、一人ひとりが考え、迷いながら前に進む場面が多くあります。そんな時に、ともに考え、解決への糸口を見いだす場として、私ども埼玉県看護協会がみなさまの支えとなれればと考えています。

私は常務理事として一期二年目を迎え、研修や認定看護師に関する事業を担当しています。

一般研修では、本年度より中堅看護師の実践力向上を目指した「ナーシングスキルシリーズ」を開始します。実践に直結する学びを大切に、集合研修による看護に役立つ超音波エコーの使い方やナーシングマッサージなど体験的な研修を企画しています。

新人看護職員研修では、職場での人間関係づくりを大切に、仲間とのコミュニケーションを体験を通して学ぶ新しいプログラムを準備しています。

また、認定看護師資格取得支援、特定行為研修支援、認定看護師派遣事業も引き続き実施していきたいと思っています。この事業は、認定看護師がいない医療機関や訪問看護ステーション、介護老人保健施設等へ、実践経験豊富な認定看護師が伺い、現場に合わせた支援を行っています。施設にとっては具体的な助言や支援を受ける機会となり、認定看護師にとっても地域や他施設を知る貴重な経験となっています。今後も、埼玉県の看護実践の質向上のために、ぜひご活用いただける環境をつくっていききたいと思います。

これからもみなさまのキャリアに寄り添い、生涯学び続けられる環境づくりに努めてまいります。ぜひ、研修をご活用ください。会員のみなさまが「なりたい自分になる」ための場として、社会のニーズに応える看護をともに考え、成長していける協会であり続けたいと考えています。

- 「令和8年度 研修一覧」タブロイド版（紙媒体）は各施設に一定数お送りします。
- 今年度は、体験型の研修（技術習得、事例検討、グループワーク等）を増やしています！
- 皆様のご要望にお応えして、eラーニングやオンライン研修を積極的に導入しました。
- 地元根差した研修を企画！  
埼玉県内の認定看護管理者や認定看護師・専門看護師が研修講師を担当します。
- 会員の皆さまは、会員価格で受講できます。
- 研修受講の無料券の贈呈を終了します。無料券をお持ちの方は、令和8年度（令和9年3月31日まで）に使用してください。それ以降は使用できなくなります。

会員の皆様の  
受講をお待ち  
しています！



年間の研修計画は埼玉県看護協会ホームページにアクセスして、「令和8年度研修一覧」及び「研修申込サイト マナブル」をご覧ください。

埼玉県看護協会ホームページ

<https://www.nurse-saitama.jp/>



研修申し込みサイト マナブル

<https://www.nurse-saitama.jp/>



## 第34回 埼玉看護研究学会のご案内

テーマ：「ケアの力を見つめ直す - 気づきから広がる看護の実践 -」

開催日	令和8年12月5日（土）9時～16時30分
場所	埼玉県看護協会研修センター（西大宮）
演題応募	令和8年6月1日（月）～7月21日（火）
参加登録	令和8年10月1日（木）～11月20日（金）

研究報告・実践報告の演題応募は、本会ホームページより様式をダウンロードし、お申し込みください。多数の応募をお待ちしております。

学会ホームページ

[https://www.nurse-saitama.jp/nursing\\_research](https://www.nurse-saitama.jp/nursing_research)



演題応募お待ちしています！

Kangochan



連続テレビ小説  
「風、薫る」(NHK)は  
もう見たかな？  
チェックしてね！

[NHK総合テレビ] 午前8:00～午前8:15

### 西部保健医療圏

## 地域看護ネットワーク懇談会を開催

看護管理者が直面している「看護人材の不足」という課題は、一施設で解決できる課題ではありません。この状況を地域の共通課題として捉え、まずは管理者が「お仲間」として手を取り合うきっかけを作るべく、地域看護ネットワーク懇談会を開催しました。第1回は西部保健医療圏内の病院の看護管理者にお集まりいただき、名刺交換や人材確保の自施設の課題、ナースセンターで就職活動を行う看護職の状況等の報告を行いました。参加された方からは、「様々な機能の医療機関で、地域の課題を共有できたこと、そしてお互いの課題や困っていることを共有できたことがよかった。」等の声が寄せられました。この会で生まれた交流がきっかけとなり、地域内での繋がりとして結ばれていくことを期待しています。令和8年度は、県内5つの二次医療圏で開催を予定しています。

# 地域包括ケアの推進に向けた看護管理者の活動紹介

## 医療法人積仁会 旭ヶ丘病院

川野 奈緒美 さん



### 施設の紹介

一般・療養・回リハ・地ケアの142床のケアミックス病院。今年8月には57床増床予定。法人内には100床の介護医療院、訪問看護、訪問診療、訪問介護、訪問リハビリ、ケアプランセンターなどを併設している。病院・介護医療院・訪問介護・訪問診療の看護・介護は、看護部で一括管理をしており、看護部職員が柔軟に協力しあう仕組みが構築されている。地域の急性期病院からの患者を積極的に受け入れ、その後の手厚い退院支援が強み。

## I. 公的介護施設の機能と特徴

看看連携を進めるうえで、地域の施設を知ることは、連携強化に繋がります。公的介護施設は主に4つあります。

施設名	主な機能・特徴	看護職の役割
特別養護老人ホーム (特養)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者：要介護3以上</li> <li>●生活介護が中心</li> <li>●長期入所</li> <li>●病院の診療報酬上の在宅復帰率に含む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康管理、医療的ケア、急変時の対応、看取り</li> <li>●介護職員との連携</li> <li>●夜間配置無し</li> </ul>
介護老人保健施設 (老健)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者：要介護1以上</li> <li>●在宅復帰を目指したりハビリと介護</li> <li>●老健5区分：①超強化型 ②強化型 ③加算型 ④基本型 ⑤その他</li> <li>●超強化型と強化型は在宅復帰率が高い</li> <li>●地域包括ケア病棟の在宅復帰率：加算型以上は1.0人、基本型は0.5人としてカウント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●在宅復帰に向けた健康管理、医療的ケア、リハビリチームとの連携、在宅復帰支援</li> <li>●夜間配置は施設方針による</li> </ul>
介護医療院	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者：要介護1以上(3以上が多い)</li> <li>●医療と介護を一体的に提供する長期療養施設</li> <li>●I型とII型に分類</li> <li>●I型は重度の方向け(24時間の医療的ケア)、II型は長期的な療養と生活の場</li> <li>●回復期リハビリテーション病棟の診療報酬上の在宅復帰率に含む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康管理、医療的ケア、生活援助、看取り</li> <li>●夜間配置あり</li> <li>●特定行為研修終了した看護師の活躍</li> </ul>
ケアハウス (軽費老人ホーム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者：自立度が高い高齢者</li> <li>●生活支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●看護職配置無し</li> </ul>

※「実務者研修」「喀痰吸引等研修」を修了した介護職は、喀痰吸引や経管栄養の注入業務の実施が可能

## II. 介護施設を理解することの意義

- 1 退院支援の選択肢が広がり、より適切な提案ができる
- 2 医療依存度や生活機能に応じたケアの方向性が見えやすくなる
- 3 病院のベッドコントロールに寄与し、地域全体の医療提供体制が安定する
- 4 医療と介護の連続性を意識した支援が可能となる

地域包括ケアの実現に重要とされる「看看連携」は、「地域の看護職同士が、対象者の生活を支えるために、同じ目標をもって、信頼しあい、対等の立場で協働すること」と定義され、看看連携の促進により、看護の質向上、他職種を含めた連携の促進が図られ、ひいては地域全体のケアの質向上にもつながると期待されます<sup>※1</sup>。また、看護管理者は単なる実務の指示役ではなく、「組織をつなぐマネジメント」と「地域を俯瞰する視点」を持つことが求められます。今回の特集では、地域包括ケアの推進に向けた取組として、混合型病院と介護医療院を運営する病院、介護老人保健施設、計3名の看護管理者の活動をご紹介します。

※1 厚生労働省「病院看護管理者のための 看看連携体制の構築に向けた手引き」

### Ⅲ. 病院と慢性期病院・介護施設の連携で生じやすい課題

医療機関と介護施設では、制度や人員配置、医療供給体制が異なるため、連携の場面で課題が生じることがあります。いくつかの事例を紹介します。

課題	内容
薬剤の継続に関する制約	急性期病院で処方される薬価が高額な薬は、包括的医療費支払い制度が適応される、老健や介護医療院では、継続が難しい場合がある。入院早期から転所先を見据えた調整が必要。
退院が決まったが、入院前に入所していた施設の受け入れ調整の停滞	退院許可が出ても、入院前に入所していた施設が受け入れられない事例が目立つ。2024年度診療報酬改定では「退院が可能となった場合の速やかな受入れの努力義務化」と明記。施設側の理解も必要。
病床選択の偏り 地域連携のあるべき姿	医師が「回復期リハビリ病棟」を強く希望しがちですが、実際には「地域包括ケア病棟」や「療養・施設」の方が、患者のQOLや生活背景に適しているケースも少なくない。各病床の特性を活かし、患者中心の視点で「本当の意味での地域包括ケア」を実現するための連携が求められている。

### Ⅳ. 看護管理者による連携の実践例

看護管理者が主体となって取り組むことで、病院と介護施設の連携は大きく前進します。その一例をご紹介します。

#### ● 例1：外来受診の効率化

介護施設の看護職員が、利用者と一緒に病院の待合室で待機していることが気になっていた。受診の事前受付を導入し、来院後の受診・検査をスムーズに実施。施設職員の負担軽減を図った。

#### ● 例2：介護施設の受け入れの拡大

病院からのスムーズな転所を進める対策として、気管切開患者の受け入れ体制の整備や転所手順の効率化等、具体的な内容を提案。解決に向け、病院・施設双方の看護管理者が一緒に考え、解決した。介護施設の職員教育と「こんな患者のうけいれは無理」という職員間の意識改革を図ることができた。

#### ● 例3：転院・転所時の経済的負担の軽減

転院や転所先を決定する際に、入院に必要なセット等の自己負担金額が大きく影響していることから、セット内容や金額の見直しを実施。価格を下げることで、経済的負担の軽減を図った。

#### ● 例4：人員確保の相互支援

連携している介護施設からの「介護職の夜勤者が不足している。」という相談に対し、病院が期間限定で介護職・看護補助者を派遣。自分の管理する職場も人手に余裕があるわけではない中、「支援するにはどうすれば良いのか?」「支援しない選択肢はない。」と考えた看護管理者の行動が、地域で支え合う体制づくりに貢献した。

### まとめ

医療機関と介護施設が互いの状況や役割を理解し、継続的に情報共有を行うことは、地域包括ケアシステムの実現には欠かせません。看護管理者がその中心となることで、高齢者が安心して暮らし続けられる地域づくりがより確かなものになると思います。地域の情報収集と患者・家族の視点を常に念頭に置き、動ける看護部長でありたいと思います。

# 医療法人靖和会 介護老人保健施設 小江戸の郷



- 病床数：100床
- 職員配置：日中 16人（看護師4人 介護職12人～）  
夜間 5人（看護師1人 介護職4人）

## 施設の特徴

利用対象者は要介護1～5の介護認定を受け、病院での治療を終えた方、在宅での生活が難しい方。一定期間入所し医療管理のもと健康管理、生活ケア、リハビリなど多職種が連携し、生活機能の維持、向上を図る。

## 主な業務内容

**看護職** 利用者の健康管理、医師の指示に基づく医療行為・診療補助、服薬管理、施設の感染対策等。

**介護職** 食事、入浴、排せつ等身体介護やレクリエーションなど日常的なケア。

## Q 施設の強みやアピールポイント、施設の”売り“を教えてください。

当施設は医療法人靖和会飯能靖和病院を母体として2013年に川越市に開設し13年目を迎えます。

老人保健施設ですので、入院中のADL低下に伴いリハビリ継続を目的に入所される方が多い一方で、医師、看護師も配置されていることから、医療依存度の高い方の受け入れも行っており、膀胱留置カテーテル管理、胃ろうによる経管栄養、喀痰吸引、インスリン注射、内服薬の管理や必要に応じた看取りまで多岐にわたる医療・看護ケアに対応しています。

2020年に糖尿病専門医が施設長として着任し、血糖管理（内服、インスリン注射）が必要な糖尿病を有する利用者のご紹介が増えています。最近では、常時約30人の糖尿病を有する利用者が入所されており、インスリン注射を要する方が10名位おられます（うち数名は1日4回のインスリン注射が必要な利用者）。



認知症のため、ご本人ではインスリンの自己注射が困難な方がほとんどで、注射は看護師の業務となります。特に朝食・夕食前は看護師が1名体制になる為、複数人の利用者への対応には細心の注意が必要です。最初の頃は、インスリン注射実施前に食事を配膳してしまうケースや、血糖値測定前に食事を摂取してしまう事例がありました。施設では看護師だけではなく介護職員や管理栄養士など多くの職種が利用者に関わっているため、誰にでも分かりやすい視覚的な情報共有の工夫を行っています。医療的な管理が必要な利用者に対しても、安心・安全な生活を支援できる体制を整えていることが当施設の強みです。

## 国井 記子 さん



## Q 今後の展望を教えてください。

高齢者施設では、認知症を伴いながら糖尿病の治療を受けている利用者もおられ、日常生活の中できめ細やかな支援が求められています。低血糖の自覚や、症状をうまく伝えられないこともあり、「いつもと違う」という気付が早期発見につながります。職員一人ひとりのスキルの向上を図り、安心してご入所いただける施設を目指していきたいです。

地域の病院や居宅事業所から糖尿病ケアの相談は「小江戸の郷」と認識してもらえよう、今後も地域の施設との連携を密に図れるよう努力して参ります。

## 介護老人保健施設 エルサ上尾



- 病床数：3フロア 150床（認知症専門棟50床）
- 職員配置：日中 看護師8人前後（パート含む） 介護福祉士30人前後（パート含む）  
夜間 看護師2名 介護福祉士6名

### 施設の特徴

在宅復帰を目的とした「超強化型」の施設。入所だけでなく通所リハビリ、訪問リハビリ、訪問看護など、在宅復帰後も切れ目のない包括的なサービスを提供している。

### 主な業務内容

**看護職** 利用者の体調管理 医療的ケア 多職種連携など。

**介護職** 身体介護 生活援助 レクリエーション企画・実施など。

### Q 施設の強みやアピールポイント、施設の”売り“を教えてください。

皆さま、ご高齢者の足や爪をじっくり観察したことはありますか。足の爪切りに自信を持って対応できているでしょうか。

当施設の利用者の中には、肥厚爪や陥入爪、魚の目、胼胝などにより、歩行能力の低下や転倒・感染リスク、さらには生活意欲の低下がみられる方がいました。また、足爪にズボンや靴下を引っかけて出血するインシデントも報告されていました。しかし、足や爪のトラブルは生命に直結しにくいものの、生活の質に大きく影響するため、重要性を感じながらも、専門的知識や技術が必要なことから現場での対応が難しく、業務の中では後回しになりがちな現状がありました。

足部は生活動作の変化が表れやすい部位であり、看護師が日常の観察やケアの中で小さな変化に気づくことが重要であると感じていました。そこで当施設では、月1回、専門職によるフットケアを導入しました。メディカルフットケアリストによる専門的な評価とケアにより、疼痛や感染リスクの軽減だけでなく、インシデントの削減にもつながっています。そしてフットケアでは約1時間かけて利用者に関わるため、ケアの時間を通して会話が生まれ、表情が和らぐなど、安心して過ごされる様子が多くみられています。さらに、



フットケアを通じて得られた気づきを看護・介護職間で共有し、日常の観察やケアに活かすことで、多職種連携の強化にもつながっています。フットケアは単に爪を整える行為ではなく、身体面と心理面の両面から、その人らしい生活を支える重要なケアであると感じています。利用者からは「痛みが取れて歩くのが楽になった」「足をきれいにしてもらえてうれしい」といった声も聞かれています。

### 高柳 克江さん




### Q 今後の展望を教えてください。

現在は外部の専門職によるフットケアを実施していますが、今後はより継続的で身近なケアの提供を目指し、当施設の看護師がフットケア研修を受講し、資格取得に向けて取り組んでいます。今後は資格取得後の看護師を中心に、週1回「フットケアの日」を設け、施設内を横断的にフットケアを実施する体制を整えていく予定です。日常をよく知る職員が専門性を持って関わることで、早期発見や予防的ケアにつなげ、利用者の安全な生活と生活の質の維持を支えていきたいと考えています。

令和8年度 埼玉県看護協会通常総会 開催

下記のとおり埼玉県看護協会通常総会を開催いたします。会場での参加をご希望の会員の方は、5月中旬に本会Webサイトで公開する申込ページよりご登録ください。事前の登録がない方にはお席をご用意することが難しくなりますので、必ず事前登録をお願いいたします。なお、令和8年度は午後に特別講演を予定しております。詳細はWebサイトにてご案内いたします。

日 程	令和8年6月20日(土) 9:30受付 10:00開始	WebサイトQR 
場 所	埼玉県看護協会研修センター(西大宮)	
参加登録	本会Webサイト <a href="https://www.nurse-saitama.jp">https://www.nurse-saitama.jp</a> 受付期間: 5月15日(金)~5月30日(土)	

※当日のプログラムは、5月中旬に本会Webサイトに掲載します。

委任状のご提出にご協力ください

**当日ご出席されない会員の方は**、必ず委任状のご提出をお願いいたします。本誌と同封してお送りする「令和8年度総会要綱 概要版」に付してある**委任状を期日までに郵送**してください。

※委任状は、4月末日までに会費の納入を済まされた方が対象です。

令和8年度 総会要綱の掲載について

今年度より協会活動の詳細を記した総会要綱(本誌)はWebサイトに掲載をいたします。下記をご確認のうえ、アクセスいただけますようお願いいたします。なお、総会にご参加される方には、会場にて配布する予定です。

掲 載	本会Webサイト <a href="https://www.nurse-saitama.jp">https://www.nurse-saitama.jp</a>
掲載期間	令和8年6月5日(金)~ 令和8年6月30日(火) ※掲載期間後は、項目によって本会Webサイトの資料ページに移します。
パスワード	閲覧制限のためパスワードを設定いたします。 <b>パスワード: SNA20260620</b> (取扱注意)

ご案内 令和8年度 認定看護師資格取得・特定行為研修受講等支援事業

埼玉県看護協会では埼玉県の受託で、**認定看護師・特定行為研修受講等支援事業**をおこなっています。

この事業は、対象課程の教育機関等に入学した看護師に資格取得給付金(20万円)を交付し、資格取得後は県内の医療機関等に従事して、県内医療機関等を対象に知識、技術の普及活動に貢献していただくことを目的としています。

対象分野	認定看護師 全分野(A課程・B課程) 特定行為研修: 特定行為区分(全区分及びパッケージ領域)
申込方法	申込用紙、期間などの詳細はホームページをご覧ください。

編集後記

今回は、病院と介護施設の連携について特集しました。医療と介護の現場で働く皆さまに、それぞれの強みや日々の取り組みを執筆していただきました。

病院で働いていると、介護保険のしくみや施設での取り組みを十分に理解できていないことに気づかれます。しかし、地域医療構想や地域包括ケアを考えると、医療と介護の連携は欠かせません。まずはお互いを知ることから始まるのだと思います。今回の特集が、地域で支え合う一歩につながれば幸いです。

広報委員会

